

温かい応援へのお礼とお願い

4月10日、当院の患者様と職員に新型コロナウイルス感染症が発症し、感染者数は日ごとに増加しております。4月17日現在、入院患者様15名、職員4名に感染を認めています。現在、職員一同、治療に取り組み、新型コロナウイルスと戦っているところです。

皆様方からの温かい励ましのメッセージや陣中お見舞い（手製のマスクやフェイスシールドなどのお届け物）をいただき、私ども職員にとりまして、大きな心の支えと励みになっております。大切に使用させていただきます。また、京都市保健所や京都府健康福祉部の方々にも、昼夜を問わずご指導いただいております。心より御礼申し上げます。

私は、新型コロナウイルス患者の診療に携わっている当院の職員を誇りに思います。患者様の命を守るために、私たちがやらなければいけないという使命感だけで、ひたむきに頑張っております。

しかしながら、不安と恐怖、そして風評被害などで心折れる職員もおり、肉体的にも精神的にもダメージを受けております。当院の職員という事だけで心無い言動とも戦わなければいけない職員のことを思うと、心が痛みます。また、職員のご家族までもが、風評被害、差別、偏見などコロナハラスメントを受け、つらい思いをしていると聞き及んでいます。どうかそのようなことは控えていただくようお願い致します。

京都で、全国で、世界中で医療関係者の多くの方々が、この忌々しい厄介な新型コロナウイルスと戦っております。今やいつ誰が感染してもおかしくない状況で、仮に感染しても症状が出ない場合もあります。皆さんも感染しないように、させないように充分お気を付け下さい。

まだまだ先の見えない厳しい戦いではありますが、職員一丸となって、目の前に立ちほだかる新型コロナウイルスに打ち勝ち、苦難を乗り越えたいと思います。

どうかそれまで、職員を温かく見守り、応援していただければ幸いです。よろしくお願い致します。

2020年4月17日

院長 相良 幸彦